

日米 F T A 反対、農家経営の危機打開を求める緊急請願

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

〔請願趣旨〕

農産物の輸入が増え、米価が底なしに下落するなかで、農家経営が続けられない事態が急速に広がっています。農業と農村の再生にいま最も必要なのは、農家が安心して生産にはげめる条件を整えることです。価格保障や所得補償を抜本的に充実し、農産物輸入自由化をストップすることは急務です。

その点で、いま問題となっている日米間の F T A (自由貿易協定)、現に交渉が進んでいる日豪 F T A (E P A) は、農産物の全面自由化で農業の崩壊につながることは必至であり、断じて認めるわけにはいきません。自由化一辺倒の W T O (世界貿易機関) を根本から見直し、「食料主権」を保障する貿易ルールを確立すべきです。

今春以降、大手スーパーの買ったたきなどによって米価が低落を続け、09年産米も大暴落の危険が高まっています。このままでは、米を作る人がいなくなりかねません。日本農業や農家経営の当面する危機にたいする打開対策をとることなしに、食料自給率の向上や「農業所得の増大」はありえません。

そのためにも、次の緊急対策の実施を強く求めます。

〔請願項目〕

- 一、日本農業を壊滅に導く日米 F T A 交渉はおこなわないこと。日豪 F T A 交渉も中止すること
- 一、米価暴落を回避するため、政府が決めしている備蓄米 100 万トに不足する分を緊急に買い入れること
- 一、ミニマム・アクセス米の義務輸入を中止すること

氏 名	住 所

取り扱い団体 (日本共産党)